

東北文化学園大学看護学科紀要
投稿規定

東北文化学園大学医療福祉学部
看護学科紀要委員会

本学科が発行する機関誌の名称は「東北文化学園大学看護学科紀要」とする。

本誌は本学医療福祉学部看護学科の看護学科の研究活動の一環として設けられたものであり、学術研究の発展と教育の向上を図ることを目的とする。

【投稿資格】

1. 本誌の投稿は本学科の教員（非常勤を含む）、大学院生、卒業生、修了生、およびその共同研究者、あるいは紀要委員会が依頼した執筆者とする。

【論文の種類】

1. 本誌に掲載される論文の種類は、原著、総説、症例報告、報告、短報、資料およびその他とする。
2. 投稿原稿の種類と内容は以下のとおりである。
原著：独創的な研究論文および科学的な観察など
総説：最近の学術的・技術的知見や成果を、歴史的背景、重要性、進捗状況、将来の方向等を踏まえつつ、総合的に論述したもの
症例報告：症例に関する新知見または独創的な試みに関する報告
報告：独創的で斬新な調査研究
短報：独創的であり、速やかかつ簡潔な発表を期待する研究報告
資料およびその他：紀要委員会が許可、もしくは依頼した論文・報告など
3. 原稿は、原則として別途認める執筆要項に従って作成する。

【論文の投稿・受理】

1. 投稿者は、原稿と電子ファイルを記録したメディアを10月末までに、紀要委員会まで提出するものとする。
2. 投稿原稿は他紙に未掲載のものでなければならない。

【査読】

1. 原稿が投稿された場合、紀要委員会は適任者2名を選出し、査読を依頼する。
2. 査読の意見書などの様式は、紀要委員会が定める。
3. 紀要委員会は、査読の意見書を添付し、その結果を投稿者に報告する。
4. 投稿された原稿の掲載の決定は査読者の意見を参考にして紀要委員会が行う。

【発行および編集】

1. 本誌は年一回発行とし、発行日は3月末日とする。
2. 本誌の発行者は東北文化学園大学医療福祉学部看護学科とする。

【著作権】

1. 原稿内容に関する第一儀的な責任と権利は執筆者に帰属し、原稿の編集、出版および電子情報化など二次的使用に関する権利は紀要委員会が執筆者から委託されたものとする。

【原稿送り先】

〒981-8551 仙台市青葉区国見6丁目45-1

東北文化学園大学 医療福祉学部 「看護学科紀要委員会」 宛

(附記)

この規定は、平成25年4月1日から施行する。

東北文化学園大学看護学科紀要
投稿規定

別途に配布するワードファイル（論文雛形）を使用し、以下の要領で作成してください。

【題目】

論文の題目と副題はコロン（:）でわかる。

【字体・フォントなど】

- ・題名は明朝体（アルファベットは century）、フォントサイズ 16 で記載する。その他(原著・本文・注釈など)は明朝体（アルファベットは century）フォントサイズ 10.5 で記載する。
- ・本文中の見出しは常用漢字、新かなづかいを用い、常用漢字は「医学用語辞典」（日本医学会編）などにできるだけ従うものとする。論文中の人名は原則として原語で、数字はすべて算用数字で、日本語化した外国語はカタカナ(この場合「」は不要)で記載する。

【倫理的配慮】

人動物が対象である研究は、倫理的動物愛護的に配慮され、その旨が本文中に明記されていること。

【要旨】

- ・和文要旨は 400 字以内で途中で改行は加えない。
- ・英文要旨は 400 語以内で途中で改行は加えない。
- ・5 語以内のキーワード(和文、欧文を問わない)をつける

【図表】

スペースは定められた余白より内側で本文 2 列もしくは 1 列分を用いて挿入する。

【文献】

- ・本文中の引用箇所には文献番号を記載する。
例：1) 2) 3)、1) 5) など
- ・欧文の引用文献の表題名は、頭文字以外はすべて小文字を用いる。
- ・「,」「.」に注意して記入する。

雑誌の場合

- ・「著者名(性を先とする): 表題. 発行年; 巻: 頁.」で記す。
- ・雑誌名の省略は、和文雑誌はその正式な略名を用いる。
- ・原著論文でははじめと終わりの頁を記す。
- ・著者名は最初の 3 名まで列挙し、その後「・・他 (et al.)」を続ける。

例) 東博彦: 寛脱臼の発育と病態.日整会誌 1989; 63: 377-394

Parkin DM, Clayton D, Black Rj, al et. C hildiahood leukaemia in Europe after Chernobyl:5year follow-up. Br J Cancer 1996;73:1066-12.

2.単行本の場合

著者名(姓を先とする).書名.版.発行地: 発行者(社); 発行年.

編集後記

平成 22 年 4 月に本学看護学科は開学し、今年度、完成年度を迎えた。開学 2 年目平成 23 年 3 月に東日本大震災を経験し、在学生・入学予定学生の安否確認、施設設備等の修復を行い、入学式・新学期の開始は 5 月実施であった。

3・11 の復興が叫ばれ、次世代型の安全・安心な街づくりはソーシャルキャピタルや減災・防災を生活の中でいかに具現化できるか、看護の立場からの提言も待たれるところである。「高くそびえる頑強な壁」が私たちの日常性を維持するために必要なのか等、看護職として自身の立ち位置も問われているように思う。

さて、学生たちは現在、卒業研究論文を提出し、看護師国家試験、保健師国家試験を待つばかりとなっている。一方、臨地実習と同時に卒業研究・国家試験対策・就職(インターンシップ)活動をこなす、まさに多重課題遂行能力を必要とされてきた。この紀要が出版される頃は看護師の卵が誕生している。さらに紀要表紙の「種蒔き」と「看護の燈火」は文字通りの「涙と共に種を蒔くものは、喜び叫びながら刈り取ろう」となることを期待したい。

前期に 4 年生の臨地実習、後期に 3 年生の臨地実習開始し師走半ばまでのスケジュールが生まれ、教員のロードを考慮し投稿原稿締め切りを延期した。それを受けて査読等も十分な時間を確保することができなかつたにも関わらず、学科を越えた査読者の丁寧な査読、的確なご指導ご助言により投稿者らは育てられた。この場を借りて黒子役である査読担当者に衷心より感謝申し上げる。

最後に、大学人として研究活動の一つに是非、紀要投稿を編集委員会からお願いしたい。

平成 26 年 2 月

作 山 美 智 子

紀要編集委員会

作山美智子 磯山正玄 遠藤雅人 桑名行雄 藤本幸三

東北文化学園大学看護学科 紀要

第3巻

2014年3月31日

発行者 東北文化学園大学医療福祉学部

看護学科

編集 紀要編集委員会

〒981-8551 仙台市青葉区国見6-45-1

(代表) Tel:022-233-3310

表紙デザイン：笹氣出版印刷株式会社